

製品名: ATP2C1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80809**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP2C1
別名	HHD; BCPM; PMR1; SPCA1
遺伝子 ID	27032.0
SwissProt ID	P98194
免疫原	大腸菌で発現した ATP2C1 の精製された組み換え断片。

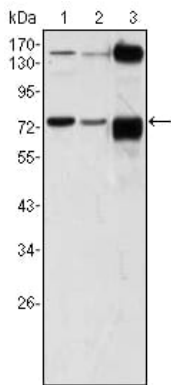
背景

ATP2C1 は PMR1 としても知られ、P 型陽イオン輸送 ATPase ファミリーに属します。このマグネシウム依存性酵素は、ATP の加水分解とカルシウム輸送を触媒します。ヒトホモログである ATP2C1（ラットでは SPLA とも呼ばれます）もゴルジ体におけるカルシウ

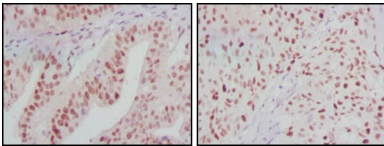
ム輸送を制御し、筋形質（小胞体）カルシウム ATPase (SERCA) や細胞膜カルシウム ATPase (PCMA) といった他の P 型 ATPase ファミリーメンバーと関連しています。ATP2C1 は膜貫通タンパク質であり、20 アミノ酸が異なる 2 つのスプライスバリエーションとして存在します。ATP2C1 の欠陥は、皮膚の水疱とびらんを特徴とする常染色体優性遺伝疾患であるヘイリー・ヘイリー病を引き起こします。これらの発見は、PMR1 が細胞内カルシウムシグナル伝達を制御することで表皮の完全性を維持する上で重要な役割を果たしていることを示すさらなる証拠となります。

研究分野

画像データ



A431 (1)、HeLa (2)、HEK293 (3) 細胞溶解物に対する ATP2C1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



ATP2C1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト卵巣癌 (左) および乳癌 (右) 組織の免疫組織化学分析。